YAMAHA

ProjectPhone

PJPシリーズ導入事例　06

株式会社 日立IEシステム様

導入機種 ➔ PJP-100UH／8台
導入時期 ➔ 2006年11月
基本構成 ➔ NetCS（遠隔会議システム）、ie-Meeting（ハンドライティング双方向通信会議システム）、PJP-100UHの組み合わせで、理想的なコミュニケーションを実現

会社概要　（2006年12月25日現在）

創業	1962年4月
資本金	4億5000万円
従業員	429人（2007年3月現在）
売上高	174億6000万円（2007年3月期）
事業内容	電気機械器具製造業（配電盤・制御板・情報機器の開発、設計、製造、販売）
所在地	本社・工場：愛知県稲沢市幸町120-1 名古屋本社：愛知県名古屋市中区錦2-2-13　名古屋センタービル2階 情報営業本部：東京都千代田区外神田6-14-3（TEL:03-5812-2214）
URL	http://www.hitachi-ie.jp/

NetCS　　ie-Meeting

「遠隔会議システム」と「タッチパネルPDPシステム」にPJP-100UHを組み合わせ、理想的な会議環境を実現!

PJP導入の背景

自社製品活用で遠隔会議システムを構築するも、音声部分が課題に。

- 自社で「ie-Meeting」を開発
- 遠隔会議システム「NetCS」と連携
- マイクスピーカーの音質が課題

日立グループの一員として、情報・エレクトロニクス・システムの分野で幅広いソリューションを提供する日立IEシステム様では、情報事業の一環として、手書き入力や資料共有が可能なタッチパネル式の双方向通信会議システム「ie-Meeting」を製品化されています。2005年11月からは映像と音声をサポートするために、日立コミュニケーションテクノロジー様のIPビジュアルコミュニケーションシステム「NetCS」と連携させ、社内で本格的な遠隔会議システムを構築しました。しかし当時使っていたマイクスピーカーは、使用場所に応じた接続や設定が極めて煩雑で、またハウリングやエコーがひどく、社内では「使いものにならない」「会議に集中できない」との不満が続出。音声部分の抜本的な改善が求められました。この課題を解決したのが、ヤマハの高性能会議用マイクスピーカー、PJP-100UHでした。

PJPを選択した理由

試用期間中に実際の会議で試用、音質の良さを参加者全員が評価。

- 従来品と比べ圧倒的な音質の良さ
- 接続や設定の簡便性も高く評価
- 組み合わせで実現した理想的な環境

同社ではPJP-100UHの導入に先立ち、1ヵ月の試用期間を設定。PJPを連携させた遠隔会議システムで、実際に稲沢・名古屋間の開発会議を行いました。社長をはじめとする出席者は、一様にその音質を高く評価。「スピーカーからごく自然な声が聞こえる」「音を拾う精度が以前とは比べものにならないほど高いので、広い会議室でも使える」「マイクスピーカーを意識しなくてよいので、会議に集中できる」など、大きな反響を呼びました。また電源とUSBケーブルさえあればどこでも簡単に使え、設定や操作が極めて容易であることも、PJPが高く評価された理由でした。この結果、ie-Meetingで資料共有と手書き入力を、NetCSで場所を選ばない機動的な遠隔会議を、そしてPJP-100UHで快適な音声環境を実現するという、まさに理想的なコミュニケーションシステムが、3つの組み合わせで実現したのです。

PJP導入の成果

最先端の会議システムにより機会損失がなくなったことを評価。

- 遠隔会議の使用頻度が向上
- 機動的な会議で機械損失を回避
- お客様へのレスポンスも迅速化

「PJPを全事業所に設置しよう」との社長方針により、今では全国6拠点で8台のPJP-100UHが活躍しています。それまで使用頻度がいまひとつだった遠隔会議も一挙に浸透。毎月の大規模な定例会議から、年始や期首の全事業所へ向けた社長挨拶、設計部と製造部のデザインレビュー、営業部と設計部の日常的な見積会議まで、極めて頻繁に使われるようになりました。PJPを連携させた遠隔会議システムの普及により、出張に伴うコストと時間が削減されたことはもちろんのこと、必要に応じていつでもどこでも遠隔会議が行えることで機会損失がなくなったことを、同社では高く評価。さらに営業部と設計部が機動的に打ち合わせすることでお客様へのクイックレスポンスを実現するなど、大きな成果を揚げているのです。

ご導入いただいた機種

PJP-100UH

希望小売価格:252,000円（本体価格 240,000円）
JANコード:49 60693 23264 4

会議システムに最適な32個のマイク、12個のスピーカー、適応型エコーキャンセラーを搭載した高性能マイクスピーカー。

YAMAHA

PJPシリーズ導入事例
株式会社 日立IEシステム 様

音が良く、使いやすい。
それがヤマハのPJP-100UH。
遠隔会議のあらゆるシーンで大活躍です。

お客様の声

PJP-100UHの導入により、いつでも誰でも簡単に使えるコミュニケーション環境が整いました。

「PJP-100UHを導入して変わったこと。それは会議の参加者が、会議の内容だけに集中できるようになったことです。以前はマイクに意識して近づいたり、エコーやハウリングで音声が聞き取れないなど、たいへん苦労していました。接続や設定が簡単で、誰でもすぐに使えることも高く評価しています。当社では以前からie-Meetingを製品化していましたので、資料を共有したり、資料に手書きで書き込みをして意思疎通を図ることは可能でした。そこにNetCSで遠隔会議システムの基盤を構築し、さらにPJPで快適な音声環境を実現したことで、理想的な社内のコミュニケーションインフラが整いました。いつでも誰でも簡単に使えるシステムですから、今後ますます用途が広がっていくと思います。」(岩尾様)

情報事業部情報営業本部
本部長 岩尾秀樹 様

システムソリューション本部
ソリューション設計部 技師 飯田 肇 様

日立IEシステム様／会議システムの特長

関係部署がすぐに集まって、その場で問題解決!理想的な会議システムをPJPがしっかりと支えています。

●日立IEシステム様が開発されたie-Meetingは、パソコンの画面や資料を取り込んで、モニターに手書き入力ができる双方向通信会議システムです。手書きした内容は即座に接続先へも表示され、また簡単なアイコン類の操作と映像表示でスムーズな遠隔会議を実現しています。

●同社の会議システムは、資料共有と手書き入力を行うie-Meetingに加え、遠隔会議システムのNetCSで映像と音声をサポート、さらにマイクスピーカーとしてヤマハのPJP-100UHを連携させています。全国の6拠点を社内LANで接続し、毎日頻繁に使われる理想的なコミュニケーション環境となっています。

ie-Meetingの初期画面。タッチパネルと手書き入力で、極めて使いやすい。ie-Meeting、NetCS、PJP-100UHは、ひとつの会議システムとして連携しており、会議の開始・終了もそれぞれの存在を意識しない簡単な操作で行える。

PJP-100UHの特長

ヤマハの音響技術を結集させたPJPシリーズ。新しい形の会議システムを実現します。

適応型エコーキャンセラー搭載で、スムーズな双方向会話を実現

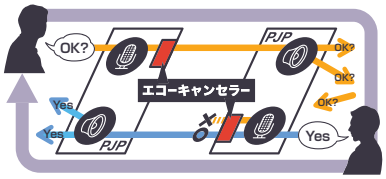
PJP-100UHは自機から再生された音を収音しても、エコーキャンセラーでその音を確実に除去。さらに再生音の廻りこみを極小化する構造設計により、より聞きやすく話やすい円滑な双方向会話を実現しています。

長時間の会議でも疲れない、聞き取りやすい音声を再生

USBかオーディオケーブルでPCと接続すれば、Web会議をTV会議のように多人数で快適に使用できます。これまで隣の人ともヘッドセット越しに会話をしていた不便な状況を解決。自然な音声で長時間会議でも疲れません。

どんな環境でも使用可能。USB接続で簡単セットアップ

使用している環境を学習してエコーを確実に処理するため、反響の多い部屋など、さまざまな環境下で使用できます。またUSB接続であるため、セットアップも極めて簡単。どこでも、気軽に使えます。



販売パートナー様の声 (http://www.hitachi-com.co.jp/NetCS/)

PJP-100UHを、当社の遠隔会議システム「NetCS」と連携するマイクスピーカーとしてお薦めしています。

「ヤマハのPJPを、高く評価しています。当社の遠隔会議システムであるNetCSに、初めてPJPを連携させて使った時、その音質の良さに非常に驚きました。また電源とUSBを接続すればすぐに使えるという、接続や設定の容易さも画期的でした。今では当社のNetCSと連携するマイクスピーカーの推奨品として、PJP-100UHをお薦めし、すでに多くの実績を上げています。専用機で会議を行っているケースも多くありますが、日立IEシステム様のように複数のパーツを組み合わせることで、多彩な用途に対応した会議システムを極めて安価に実現することができます。今後もie-MeetingとPJP-100UH、そしてNetCSの組み合わせを、多くの企業にご提案していきたいと思っています。」(北折様)

株式会社日立コミュニケーションテクノロジー 営業統括本部IPネットワーク戦略プロジェクト 北折孝幸 様

PJP-100UHの概要

●寸法／750(幅)×100(奥行)×65(高さ)mm ●重量／約2.9kg(電源アダプタ含まず) ●電源／AC100V 50/60Hz ●形状／会議用マイクスピーカー
●音声インターフェース／USB2.0 Full Speed、アナログ音声入出力(径3.5mmステレオミニジャック)、周波数帯域:300～7000Hz、本体スピーカー:アレイスピーカー12個、音量:85dB(0.5m)以上、本体マイク:アレイマイク16個×2列、指向性制御機能
●その他機能／適応型エコーキャンセラー、ノイズリダクション、ファームウェアリビジョンアップ機能(PCよりUSB転送)、対応OS:Microsoft Windows XP/2000/Vista

Microsoft、WindowsおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

⚠ 安全に関するご注意 ●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。

YAMAHA
感 動 を ・ と も に ・ 創 る

プロジェクトフォンお客様ご相談センター
■ お電話によるお問い合わせ先 ☎053-460-2822 ■ FAXによるお問い合わせ先 053-460-2829
ご相談受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)
◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら http://www.yamaha.co.jp/projectphone/

ECO PULP エコパルプ このパンフレットは無塩素漂白(ECF)パルプを使用しています。
PRINTED WITH SOY INK このパンフレットは再生紙と大豆油インクを使用しています。

製造元 ヤマハ株式会社 サウンドネットワーク事業部 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
2007年12月作成 カタログコード MPJPD0006